



いずかし

i-check (アイチェック) 結果

心の有り様を可視化

i-check(アイチェック)の各学級の結果		
	上位3つ	下位3つ
3年	先生の支え、規範意識、いじめのサイン	家族の支え、感動体験、友だちの支え
4年1組	家族の支え、いじめのサイン、思いやり	学級の規範意識、対話・話し合い 先生の支え
4年2組	先生の支え、いじめのサイン 学級の規範意識	他者からの評価、家族の支え、生活習慣
5年	学習習慣、学習意欲、対人ストレス	感動体験、発信力、学級の規範意識
6年	学級の規範意識、学級の絆、規範意識	学習習慣、家族の支え、生活習慣

「自主、自立、自信」子供の「できた!」を見守る伴走者

R8. 7月1日13号
文責：園田

お知らせします。各学年ごとの主な傾向は以下の通りです。

◆ 中学年（3年・4年）

周囲の先生や家族といった身近な大人からの支えや、いじめに対する意識が高い傾向にあります。

○3年生：「先生の支え」や「いじめのサイン」が上位にあります。

○4年生：「家族の支え」や「先生の支え」が上位にランクインする一方で、クラスによっては「家族の支え」や「先生の支え」が下位に入るなど、支援の受け止め方にばらつきが見られます。また、両クラス共通して「いじめのサイン」への意識は高いです。

○5年生：学習への関心と対人ストレスの顕在化

○5年生になると、意識の対象が大きく変化し、個人的な資質や心理的負担が表面化します。

「学習習慣」や「学習意欲」が上位を占め、勉強に対する意識が高まっています。

心理面では、上位に「対人ストレス」が入っており、人間関係における悩みや負担を感じや

すくなる時期であることが推測されます。

○6年生：個人の学習よりも集団への意識が強くなっています。「学級の規範意識」や「学級の絆」が上位に並び、最高学年として規律ある集団作りを重視する姿勢が見て取れます。

また、5年生で上位だった「学習習慣」が、6年生では下位に入っており、関心の対象が学習から集団形成へと移り変わっていることが特徴的です。

アイチェックの結果およびこれまでの分析を踏まえ、学校全体として取り組むべき方向性を以下の4つの柱にまとめました。

一、家庭との連携強化と「支え」の再認識

「家族の支え」が3年生、4年2組、6年生と、多くの学級で下位項目となっている点は、学校として注視すべき課題です。

■具体的方向性：児童が家族からの愛情や支援を肯定的に受け止められるよう、学校での頑張りや良さを積極的に家庭へ発信し、親子のコミュニケーションを促す機会を作ります。また、学校・家庭・地域が一体となって子供を見守る体制を強化します。

二、学習習慣の継続的定着支援

5年生で高まった「学習意欲」や「学習習慣」が、6年生で急落しているというギャップを埋める必要があります。6年生において具体的な方向性：6年生におい

て、深まった「学級の絆」を「互いに高め合う学び」へと昇華させる取り組み（ペア学習や教え合いなど）を重点的に行い、集団としてのまとまりを、個人の学習習慣の維持・向上に繋げる仕組みを見直します。

三、発達段階に応じた対人関係・規範意識のサポート

学年によって「規範意識」や「対人ストレス」の現れ方が異なるため、きめ細やかな対応が求められます。

■具体的方向性

中学年：意識の高い「いじめのサイン」を早期発見に活かし、先生や家族への信頼感を土台にした安心できる環境作りを継続します。

高学年：5年生で見られる「対人ストレス」を軽減するため、アンガーマネジメントやコミュニ

ニケーションスキルの指導を充実させます。また、6年生の「学級の規範意識」の高さを全校のモデルとして活用する場面を作ります。

四、生活基盤の改善と豊かな体験の提供

「生活習慣」の乱れや「感動体験」の不足が複数の学年で課題となっています。

■具体的方向性
生活面：6年生で課題となっている「生活習慣」の改善に向け、保健指導や家庭への啓発を通じて、規則正しい生活が学習や心の安定に繋がることが伝えられます。

体験面：3年生や5年生で不足している「感動体験」を補うため、感性を揺さぶるような行事・授業実践を意図的に配置します。

R8スクリーンタイム調査

さて、本校では昨年度、児童のスマートフォンやタブレットなどの利用実態を把握するため、「スクリーンタイム調査」を実施いたしました。

調査の結果、一部で長時間の利用が見られ、昨年7月に講師をお招きして親子で講話を聴いていただきました。そこで、利用実態がどのよう

に改善されたか、その変化を検証するため、今年度も同様の調査を計画いたしました。

つきましては、児童の学年に応じて以下の方法で調査を実施いたします。
○2年生以上の児童
学校にて、子供たち自身が

タブレット等を使って回答します。

○1年生の保護者様
安心メールで二次元コードとアンケートリンクを配信いたしますので、スマートフォン等で読み取っていただき、7月10日（金）までにご回答をお願いいたします。この調査は、子供たちが自らの生活習慣を振り返り、メディアと健康的な距離を保つための大切なステップとなります。お忙しいところ恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、期日ですようお願い申し上げます。